

# 東日本大震災被災地住民への健康づくり支援 ～作業療法士としての公衆衛生活動～

講師： 岩手医科大学医学部  
衛生学公衆衛生学講座

高梨 信之



東日本大震災発災から10年が経過し、被害が大きかった岩手県沿岸市町村では仮設住宅から恒久的な居住地への移転、まちづくりが進み、それぞれに課題を抱えながらも地域復興へ向けて歩んでいる。演者は震災後から現在にかけて、被災地における健康関連の研究と実践、その両輪で活動をしている。シンポジウムでは、岩手県被災地を対象とした健康調査の内容、また故郷である岩手県陸前高田市での介護予防事業への関わりを紹介し、長期にわたる継続的な健康づくり支援について考えたい。